

# 下水道事業特別会計

留萌市都市環境部上下水道課管理係  
TEL 0164-42-2049

## 総括

下水道は「汚水の排除」「浸水の防除」「河川・海域の水質保全」の3つの役割を持ち、市民一人ひとり、そして次の世代の市民が快適な生活と良好な環境で過ごすための重要な都市施設（財産）です。令和4年度の下水道事業特別会計の決算状況は、歳入1,420,746,126円に対して歳出1,420,693,626円であり、歳入歳出収支差引は52,500円の決算剰余金が生じました。なお、決算剰余金はすべて翌年度へ繰り越すべき財源となっております。歳入においては、建設事に伴う補助金及び市債の減により前年度より減少しました。歳出においては、管渠布設工事による下水道建設費の減により、減少となりました。建設事業の概要は、施設では浄化センターの老朽化した機械・電気設備の更新工事を実施しました。管渠では未普及地区解消として東部・潮静地区の污水管・雨水管布設工事等を実施しました。

処理区域内人口は16,848人で水洗化人口は14,720人、水洗化率は87.4%、普及率は88.8%となっており、下水道使用量は1,466,852m<sup>3</sup>となっております。

## 歳入

### ■前年との比較

- ①受益者負担金  
前年度と比べ受益者の増加による増。
- ②下水道使用料等  
人口減少による減。
- ③⑤国庫支出金・市債  
補助事業の減少に伴う減。
- ④繰入金  
基準内繰入の増加による増
- ⑥その他  
下水道管移設補償金の減少による減。

(単位:千円、%)

予算科目	令和4年度			令和3年度		令和3年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①受益者負担金	34,968	35,019	2.5	16,039	1.0	18,980	118.3
②下水道使用料等	356,816	355,644	25.0	363,044	22.5	△ 7,400	△ 2.0
③国庫支出金	246,296	213,983	15.0	293,004	18.2	△ 79,021	△ 27.0
④繰入金	426,386	422,864	29.8	380,019	23.5	42,845	11.3
⑤市債	428,500	377,900	26.6	518,100	32.1	△ 140,200	△ 27.1
⑥その他	14,936	15,336	1.1	43,033	2.7	△ 27,697	△ 64.4
合計	1,507,902	1,420,746	100.0	1,613,239	100.0	△ 192,493	△ 11.9

## 歳出

### ■前年との比較

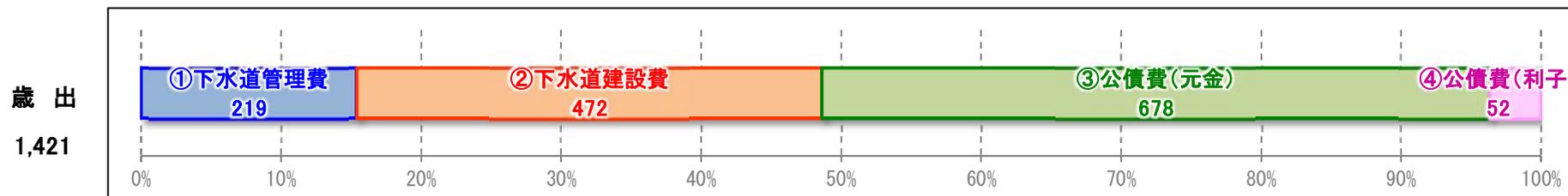
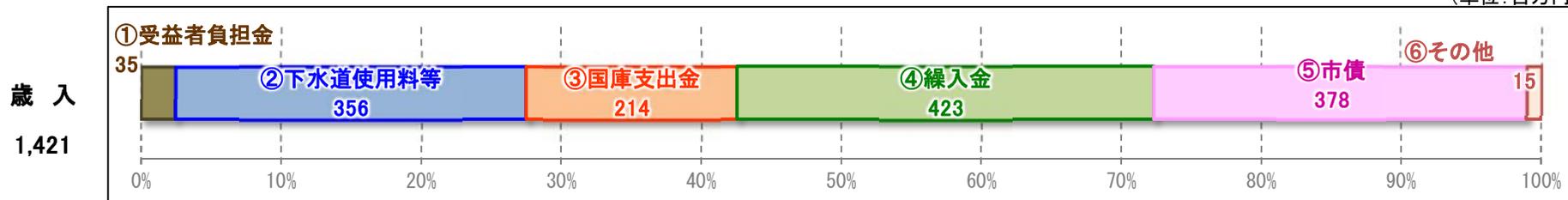
- ①下水道管理費  
浄化センター費等の減少による減。
- ②下水道建設費  
浄化センターの更新工事、污水管、雨水管の布設等補助事業の減少による減。
- ③④公債費  
元金:元金償還終了と元金償還開始の差額による減。  
利子:未償還残高の減及び利率低下による減。

(単位:千円、%)

予算科目	令和4年度			令和3年度		令和3年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①下水道管理費	221,418	219,459	15.5	227,240	14.1	△ 7,781	△ 3.4
②下水道建設費	554,830	471,838	33.2	643,462	39.9	△ 171,624	△ 26.7
③公債費(元金)	677,676	677,676	47.7	682,000	42.3	△ 4,324	△ 0.6
④公債費(利子)	51,812	51,721	3.6	60,537	3.7	△ 8,816	△ 14.6
⑤その他	2,166	0	0.0	0	0.0	-	-
合計	1,507,902	1,420,694	100.0	1,613,239	100.0	△ 192,545	△ 11.9

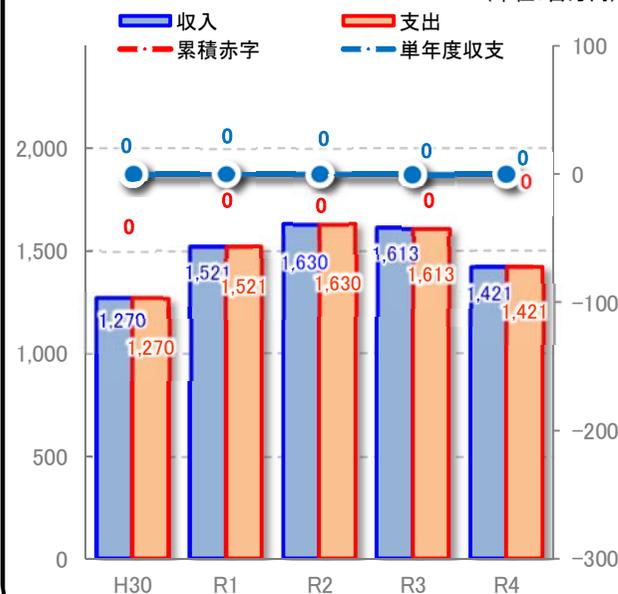
## 収支の状況（令和4年度決算）

（単位：百万円）



単年度収支と累積赤字の推移

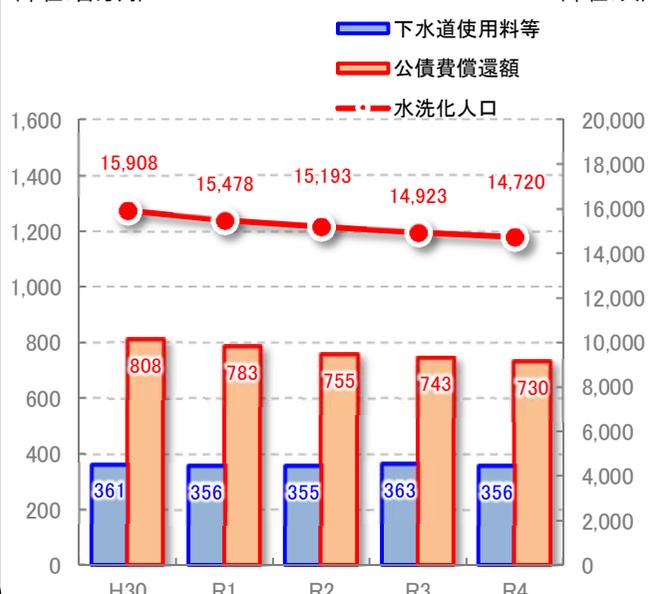
（単位：百万円）



水洗化人口・公債費償還額・下水道使用料等の推移

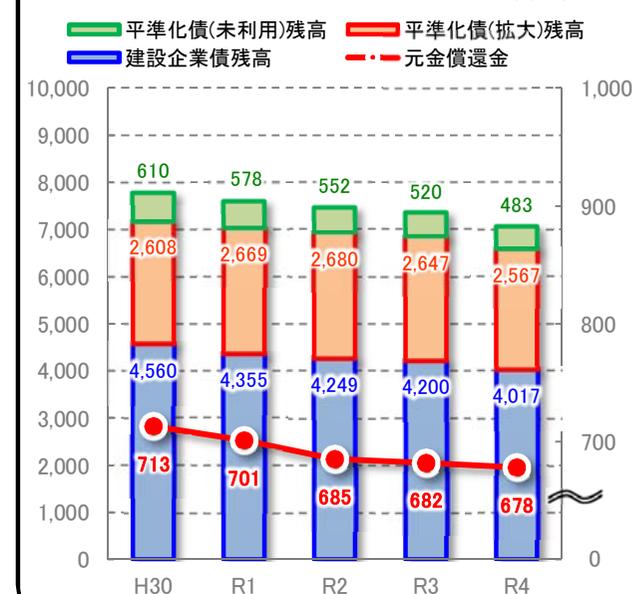
（単位：百万円）

（単位：人）



下水道整備に要した企業債の推移

（単位：百万円）



## 令和5年度執行状況（9月30日現在）

### 歳入

- ①受益者負担金 見込みより一括納付（通常は5年分割）が多く、ほぼ納期とおりの収入となっております。
- ②下水道使用料等 前年度とほぼ同じ収入率で推移しています。
- ③国庫支出金 国からの補助金で、工事完了後の年度末の収入となります。
- ④繰入金 市から下水道事業への繰出し（負担）で、年度末の収入となります。
- ⑤市債 下水道整備のための借金で、年度末の収入となります。
- ⑥その他 資源（更新工事に係る鉄屑）の売払いによるものです。

（単位：千円、％）

予算科目	令和4年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①受益者負担金	9,810	9,821	100.1
②下水道使用料等	354,720	139,086	39.2
③国庫支出金	116,300	0	0.0
④繰入金	472,101	0	0.0
⑤市債	302,800	0	0.0
⑥その他	2	456	22,800.0
合計	1,255,733	149,363	11.9

### 歳出

- ①下水道管理費 一般管理費、管渠維持費、浄化センター費などの維持管理費用は例年並みに推移しています。
- ②下水道建設費 下水道施設の改修（耐震化）工事や雨水・汚水管の設計委託、布設工事に係るもので、年末から年度末にかけて工事等が完了する予定でその後の支払いになります。
- ③④公債費 市債（借金）の返済は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。（今年度は曜日の関係で9月末の支払い分が10月にずれ込んでいます。）

（単位：千円、％）

予算科目	令和4年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①下水道管理費	232,887	90,462	38.8
②下水道建設費	323,210	21,100	6.5
③公債費（元金）	653,003	93,474	14.3
④公債費（利子）	43,633	6,970	16.0
⑤その他	3,000	0	0.0
合計	1,255,733	212,006	16.9

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、国庫支出金・繰入金・市債の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。